

平成30年8月21日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標 題 “西いわみ農業の雇用・研修の受入れを拡大する研修会” に反応は上々！

(ダイジェスト)

日々の活動の中で、農業経営者から「従業員不足で営農の継続が難しい」等の声が多く聞かれることから、7月24日に益田市市民学習センターにおいて雇用・研修受入れを拡大することを目的に標記研修会を開催しました。

当日は、雇用トラブルの要因を取り除く方法に関する益田労働基準監督署担当課長の講演と益田及び鹿足郡農業士会員の事例紹介で構成し、参加者の反応は上々でした。

1 状況等

当管内(=益田市、鹿足郡)では、有効求人倍率が2倍を超え、農業経営者からは厳しい人手不足の状況が聞かれます。

今後、農業経営の維持・拡大や世代交代をスムーズに進めるには、雇用・研修生等の受入れ環境を異業種同様に積極的にPRする必要があります。

2 内容等

①講演

演題：「雇用等トラブルの発生状況と対策を考える」

講師：益田労働基準監督署 監督安衛課長 山本 崇 氏

②事例紹介

テーマ：「雇用・研修生の受入れから学んだこと」

発表者：益田農業士会会長 (有)大場ぶどうファーム 代表取締役 大場耕造氏

〃：鹿足郡農業士会会員 木村農園 木村大輔氏

3 参加者の反応等

講演では、「被雇用者に労働条件通知書を出せば雇用トラブルの7割が防げる」、「外国人を雇用する場合はコミュニケーションを上手くして外国人に気に入られると良い」等の分かり易い助言があり、事例紹介では、「雇用する時に注意している点」、「雇用のメリット/デメリット」が語られ、それに対して活発な質疑応答がありました。

また、アンケート結果には、「参考になった」、「非常に分かり易かった」、「法人化をしたい」等の回答があり、今後も労務管理に関する相談会を開催する必要があると感じました。

